

海のこと、モット知って、感じて、大切に 瀬戸内海の豊かな自然の営みと 恩恵を継続するために

～瀬戸内海的环境と津波について学ぶ～

瀬戸内海は本州、四国、九州に囲まれた平穏で多様な生態系景観と生産性の高い日本最大の閉鎖性海域です。この多様で豊かな瀬戸内海的环境の実態を把握し、そして平穏と思われている海域に想定される巨大津波の驚異を知ること、海の営みと自然の恩恵を知ingことを目的としています。

日時

2014年11月29日(土)

13:00～16:20 受付12:30開始

場所

ひろしまハイビル21 17階 広島市中区銀山町3-1
アクセスマップ <http://urx.nu/bzMN>

主催：日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会

共催：学校法人鶴学園広島工業大学、広島大学大学院工学研究科輸送環境システム専攻

後援：広島市教育委員会、教育新聞社

参加費

一般 500円、学生・生徒は無料(参加者には講演要旨集を配布)

参加
申込方法

下記URLの第10回海洋教育フォーラム「瀬戸内海的环境と津波について学ぶ」からお申し込み下さい。
申込URL:<http://www.jasnaoe.or.jp/mecc/event.html>
定員150名(要事前申込)

コチラのQRコードから
お申し込み下さい。▶



防予諸島(周防大島)エコツアー
スナメリウォッチング

問い合わせ先

TEL 082-424-7780 広島大学工学研究科輸送・環境システム専攻(〒739-8527東広島市鏡山1-4-1)

この講座についてのURL

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/21011>



シーカヤックによるエコツアー:
安芸灘諸島

プログラム

13:00	開会挨拶 小林正典(日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会委員長)
13:10	その1 瀬戸内海的环境 上嶋英機(広島工業大学) 瀬戸内海的环境と新たな環境管理 ～エコツーリズム ^{注1} による瀬戸内海の活性化～ (注1:地域の環境に配慮し、自然の環境資源の魅力と自然と共に歩んだ地域社会の文化歴史の有様を学習また体験的に伝える活動)
13:50～	その2 瀬戸内海の津波 新井信一(東北工業大学) 東日本大震災 ～その津波による被害～ 小林英一(神戸大学) 想定される南海地震による津波の船舶への影響 ～船はどう動くか、どうすればよいか～ 山崎宗広(産業技術総合研究所) 瀬戸内海への津波の影響 ～瀬戸内海大型水理模型 ^{注2} による津波実験から観ること～ (注2:1973年呉市、中国工業技術研究所(独立行政法人産業技術総合研究所)に建設された長さ230m幅100mの世界最大の水理模型)
15:20～15:30	休憩
15:30	その3 総合討論
16:10	閉会挨拶 高橋洋子(文部科学省)

